

国税の試験制度の変更点

2025年から変更



専門試験に「**選択必須**」科目が導入

※選択必須：5科目30問のうち4科目24問以上を必ず解答



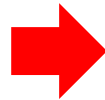
人物試験の**配点比率**の引上げ

※2/9 (約22%) から3/10 (30%) に引き上げ

専門択一：選択必須科目の導入

従来の専門択一試験

	科目	出題数	解答数
必須	民法・商法	8	16問
	会計学	8	
選択	憲法・行政法	6	24問
	経済学	6	
	財政学	6	
	経営学	6	
	政治学 社会学 社会事情	6	
	英語	6	
	商業英語	6	
合計		58	40問



2025年以降の専門択一試験

	科目	出題数	解答数
必須	民法・商法	2	4問
	会計学	2	
選択必須	民法・商法	6	24問 ? 30問
	会計学	6	
	憲法・行政法	6	
	経済学	6	
	英語	6	
選択	財政学	6	12問 ? 6問
	経営学	6	
	政治学 社会学 社会事情	6	
	商業英語	6	
合計		58	40問

必須解答

4問は必ず解答。

選択必須解答

- 5科目30問のうち4科目24問を必ず解答。
- 残り1科目は0問～6問を自由に解答。

選択解答

「必須」と「選択必須」で解答した28問～34問以外の12問～6問を自由に選択して解答。

配点比率の変更

従来の配点

	試験種目	配点比率
1次試験	教養（基礎能力）	$\frac{2}{9}$ (22.2%)
	専門択一	$\frac{3}{9}$ (33.3%)
	専門記述	$\frac{2}{9}$ (22.2%)
2次試験	人事院面接	$\frac{2}{9}$ (22.2%)
	身体検査	合否のみ



2025年以降の配点

	試験種目	配点比率
1次試験	教養（基礎能力）	$\frac{2}{10}$ (20%)
	専門択一	$\frac{3}{10}$ (30%)
	専門記述	$\frac{2}{10}$ (20%)
2次試験	人事院面接	$\frac{3}{10}$ (30%)
	身体検査	合否のみ

人物重視

人事院面接の配点を高くすることを目的として、他の試験種目の配点比率の見直しが行われた。